

学内のサービスに繋がらない場合（Windows10）

1-1. インターフェース優先順位を変更

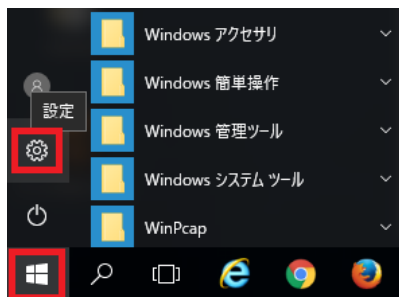
1-2. IPv6を無効にする

1-1. インターフェース優先順位を変更

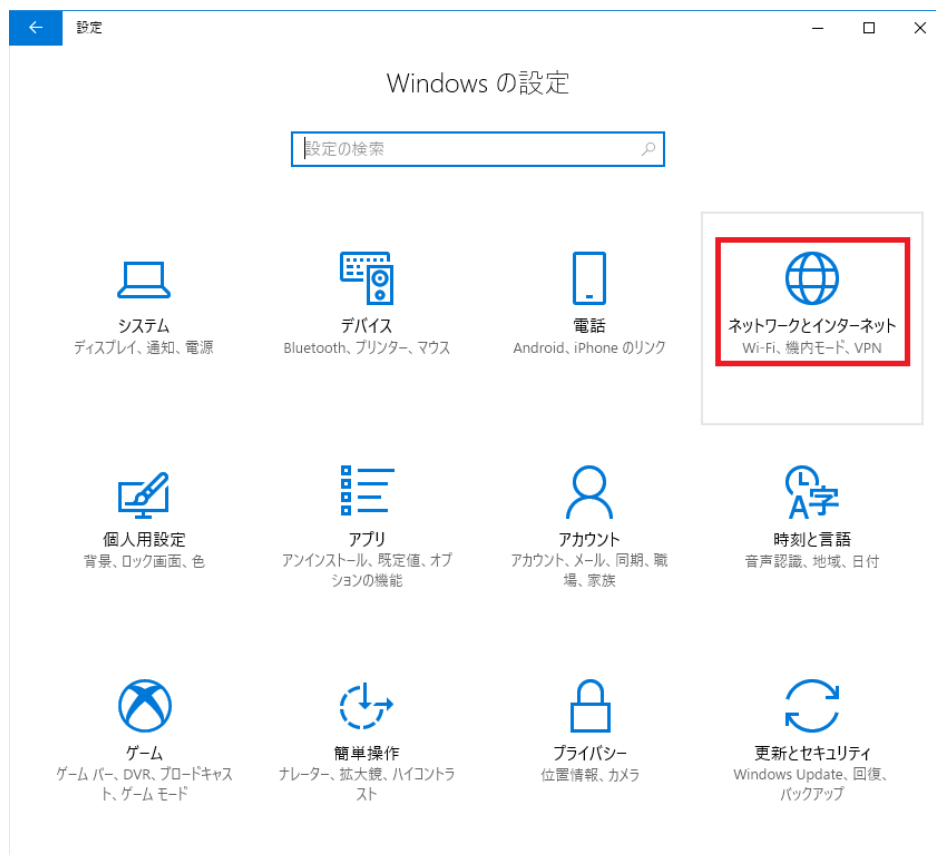
VPNに接続済みで接続元のインターフェースの設定のメトリック値が、SRAS-VPNの設定より優先度が高い状態に設定されている可能性があります。

SRAS-VPNの設定のメトリック値を自動から、「1」に変更した状態で、再度接続を試みてください。

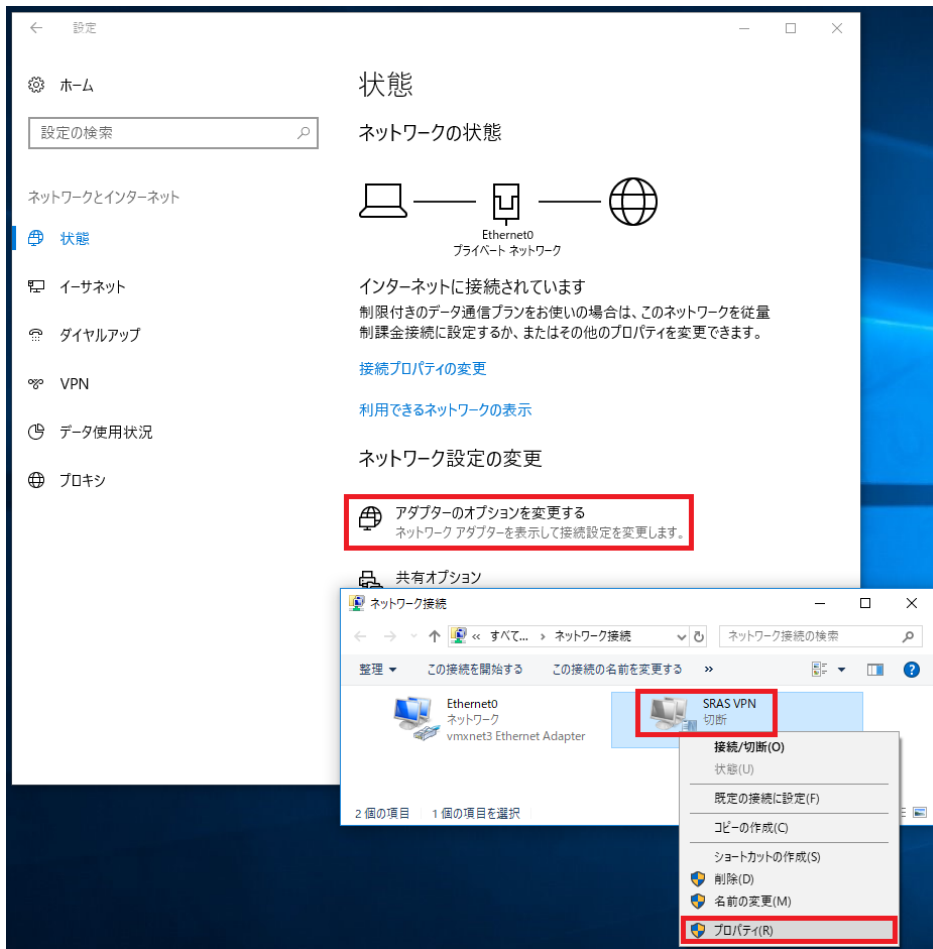
1-1-1. 「windows」メニューから「設定」をクリックします。



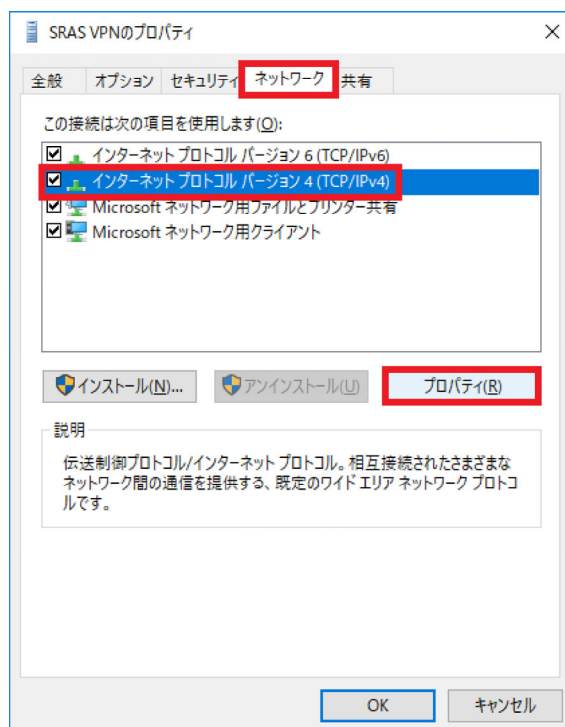
1-1-2. 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



1-1-3.「アダプターのオプションを変更する」をクリックします。作成したSRAS（図では「SRA VPN」）アダプタを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



1-1-4.「ネットワーク」タグをクリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。



1-1-5.「詳細設定」ボタンをクリックします。

インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I):

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバ(-)(P):

代替 DNS サーバ(-)(A):

詳細設定(V)...

OK キャンセル

1-1-6.「自動メトリック」のチェックを外し、「インターフェースメトリック」の枠に「1」を入力します。「OK」ボタンをクリックします。

開いていたウィンドウの「OK」ボタンをクリックして閉じます。

TCP/IP 詳細設定

IP 設定 DNS WINS

このチェックボックスは、ローカル ネットワークとダイヤルアップ ネットワークに同時に接続しているときのみ適用されます。オンになっている場合、ローカル ネットワークで送信できないデータはダイヤルアップ ネットワークに転送されます。

リモート ネットワークでデフォルト ゲートウェイを使う(U)

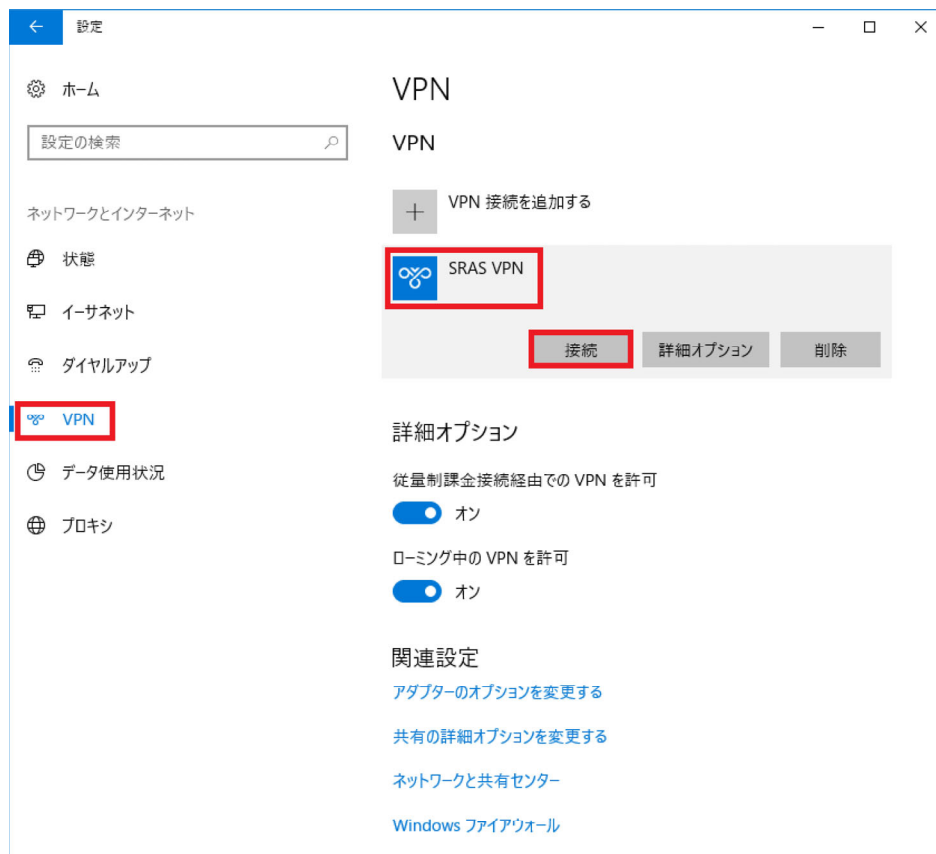
クラス ベースのルートの追加を無効にする

自動メトリック(A)

インターフェイス メトリック(N): 1

OK キャンセル

1-1-7.「設定」の「VPN」をクリックし、作成したVPN名（図では「SRASVPN」）をクリックし、「接続」ボタンをクリックします。



1-2.IPv6を無効にする

SRAS VPNに接続できているのに、学内のページ（s*gsot等）につながらない症状の場合は、自宅のプロバイダがIPv6に対応している可能性があります。

1-2-1.下記URLへアクセスします。「非トンネル インターフェイス（ループバックを除く）および IPv6 トンネル インターフェイスで IPv6 を無効にする」を「ダウンロード」ボタンをクリックします。

ファイルを「保存」ボタンをクリックします。（図はInternetExproraを使用）

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/929852/how-to-disable-ipv6-or-its-components-in-windows>

WindowsでIPv6またはそのコンポーネントを無効にする方法

適用対象: Windows Server 2012 R2 Standard, Windows Server 2012 Standard, Windows Server 2012 Standard, [詳細](#)

重要: インターネット プロトコル バージョン 6 (IPv6) は、Windows Vista 以降のバージョンの Windows で必須の部分です。マイクロソフトは、IPv6 またはそのコンポーネントを無効にすることは推奨しません。無効にすると、一部のコンピューターは機能しなくなることがあります。また、IPv6 を不適切に無効にし、DisabledComponents レジストリ設定を 0xffffffff の値に設定すると、システムのスタートアップが 5 秒間遅延します。正しい値は 0xff です。詳細については、「[IPv6 for Microsoft Windows: Frequently Asked Questions](#)」(英語情報) の「What are Microsoft's recommendations about disabling IPv6?」を参照してください。

IPv6 またはそのコンポーネントを自動的に無効化または再有効化する

実行する手順の【ダウンロード】ボタンをクリックします。次に【ファイルのダウンロード】ダイアログボックスで【実行】または【開く】をクリックし、簡易修正ツール ウィザードの手順に従います。

プレフィックス ポリシー を優先する	すべての非トンネル IPv4 よりも IPv6 を無効にする	すべてのトンネル IPv4 よりも IPv6 を無効にする	非トンネル インター フェイス (ループバ ックを除く) およ び IPv6 トン ネル インター フェイスで IPv6 を無効にする
Download	Download	Download	Download

プレフィックス ポリシー を優先する	すべての非トンネル IPv6 よりも IPv4 を再有効化する	すべてのトンネル IPv6 よりも IPv4 を再有効化する	非トンネル インター フェイスおよび IPv6 トン ネル インター フェイスで IPv6 を再有効化する
Download	Download	Download	Download

download.microsoft.com から MicrosoftEasyFix20170.mini.diagcab (122 KB) を開くか、または保存しますか?

[ファイルを開く\(O\)](#) [保存\(S\)](#) [キャンセル\(Q\)](#)

1-2-2.ダウンロードしたファイルのフォルダを開きます。

MicrosoftEasyFix20170.mini.diagcab のダウンロードが完了しました。

[ファイルを開く\(O\)](#) [フォルダーを開く\(P\)](#) [ダウンロードの表示\(V\)](#)

1-2-3.「MicrosoftEasyFix20170.min.diagcab」ファイルをダブルクリックします。

ダウンロード

名前 更新日時 種類 サイズ

desktop.ini	2018/04/18 10:17	構成設定	1 KB
MicrosoftEasyFix20170.mini.diagcab	2018/05/01 15:46	トラブルシューティング...	123 KB

種類: トラブルシューティング バック キャビネット
サイズ: 122 KB
更新日時: 2018/05/01 15:46

2 個の項目 | 1 個の項目を選択 122 KB

1-2-4.簡易ツールが起動します。「次へ」をクリックします。



1-2-5.「閉じる」をクリックします。つながらなかった学内ページを確認しましょう。



1-2-6.IPv6 を有効に戻すには、「非トンネル インターフェースおよび IPv6トンネル インターフェースでIPv6 を有効にする」をダウンロードし、実行します。

https://support.microsoft.com/ja-jp/help/929852/how-to-disable-ipv6-or-its-com... 検索...

Windows で IPv6 またはそのコ...

Windows で IPv6 またはそのコンポーネントを無効にする方法

メール
印刷

適用対象: Windows Server 2012 R2 Standard, Windows Server 2012 Standard, Windows Server 2012 Standard, [詳細](#)

重要: インターネット プロトコル バージョン 6 (IPv6) は、Windows Vista 以降のバージョンの Windows で必須の部分です。マイクロソフトは、IPv6 またはそのコンポーネントを無効にすることは推奨しません。無効にすると、一部のコンピューターは機能しなくなることがあります。また、IPv6 を不適切に無効にし、DisabledComponents レジストリ設定を 0xffffffff の値に設定すると、システムのスタートアップが 5 秒間遅延します。正しい値は 0xff です。詳細については、「[IPv6 for Microsoft Windows: Frequently Asked Questions](#)」(英語情報) の「What are Microsoft's recommendations about disabling IPv6?」を参照してください。

IPv6 またはそのコンポーネントを自動的に無効化または再有効化する

実行する手順の [ダウンロード] ボタンをクリックします。次に [ファイルのダウンロード] ダイアログボックスで [実行] または [開く] をクリックし、簡易修正ツール ウィザードの手順に従います。

プレフィックス ポリシー IPv6 よりも IPv4 を優先する	すべての非トンネル インターフェイスで IPv6 を無効にする	すべてのトンネル インターフェイスで IPv6 を無効にする	非トンネル インターフェイス (ループバックを除く) および IPv6 トンネル インターフェイスで IPv6 を無効にする
Download	Download	Download	Download
プレフィックス ポリシー IPv4 よりも IPv6 を優先する	すべての非トンネル インターフェイスで IPv6 を再有効化する	すべてのトンネル インターフェイスで IPv6 を再有効化する	非トンネル インターフェイスおよび IPv6 トンネル インターフェイスで IPv6 を再有効化する
Download	Download	Download	Download

▼ ウィザードに関する注意事項

サイトに関するフィードバック